



# 川崎市看護協会ニュース

vol. 103

## CONTENTS

令和3年度開始新分野研修特集  
 (精神科・医療的ケア児の訪問看護) … 1  
 (小児看護) … 2  
 離職防止委員会かわさきFM出演 … 2  
 会長からのメッセージ・教育委員会活動紹介・  
 祝受賞 … 3  
 研修案内・理事会報告・漢字クイズ回答・  
 アンケート意見・編集後記 … 4

公益社団法人 **川崎市看護協会**  
 川崎市中原区今井上町 1-34 和田ビル 3F  
 TEL.044-711-3995  
 FAX.044-711-5103

https://www.kawa-kango.jp/  
 E-mail: mail1@kawa-kango.jp  
 会員数: 3,794人(令和4年2月1日現在)



## 特集 令和3年度開始 新分野の3研修

令和3年度は、皆様からの要望や社会的課題を踏まえ、新たに加わった3分野の研修を、出版委員が取材しました。

### 精神障害者の訪問看護 ～精神障がい理解～ 7月15日/10月28日



ハートフル代表 **渡部 貴子** 講師  
 精神科認定看護師  
 (一社)精神科看護協会認定制度

ワンポイント! 講義資料から引用

「管理するのではない → その人を見る」  
 精神科訪問看護とは、生活の主体である精神障害を持つ人自身と「その人がその人らしく生きる」=「QOL(生活の質)を高める」ことをともに考え、安心して地域で生活できるように自己決定を支援し、サポートすることである。



受講風景

取材レポート

精神障害者の看護と言うと、普段から精神科看護に携わっている方以外は少なからず苦手意識をお持ちの方も多いと思います。精神障害者の看護については看護学生以来の受講でした。私たちは問題解決思考のもと看護をしています、そんな時よく耳にするのが、精神疾患のある患者さんは精神病院に行かれた方がいいとの声です。今回受講し、「精神障害者の看護においては問題解決思考では対処しきれない。どのように付き合っていくかが重要」との内容が非常に印象に残りました。後輩や学生指導の場面で「疾患でなく患者さんを見て」と助言していることを耳にしますが、その難しさを改めて感じました。

出版委員 日本鋼管病院 八木下 泰弘

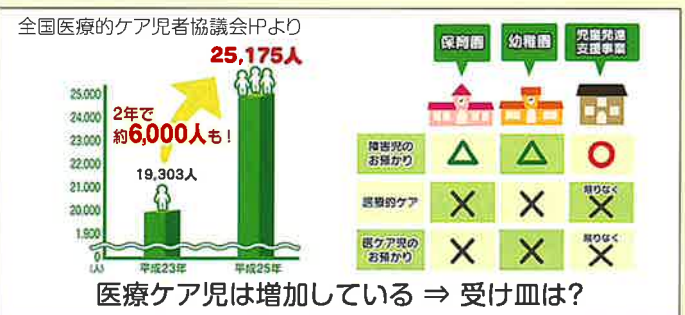
### 医療的ケア児の看護 ～疾患や障害のある小児の看護～ 7月15日/11月11日



皮膚・排泄ケア看護認定看護師  
**村松 恵** 講師

講義のポイント!

- 講義資料から引用
- ①なぜ病院ではなく在宅医療なのか?
  - ②小児在宅医療の対象とは?
  - ③小児在宅医療の現状と課題



取材レポート

研修ではまず、小児は成人に比べ訪問看護の導入が遅れており、どこでも受けられる状況にはない。そのため、NICUの出口がなくなり常に満床で、新規救急患者受け入れが困難となる。さらに、気管切開やレスピレーターを使用していることが、在宅への高いハードルとなるなど、実際に医療的ケア児に生じている様々な課題を知ることができました。小児の障害施策は高齢者に比べ遅れている現状とのことでした。様々なハードルがあり支援が容易に受けられない現状を知り、患者家族が安心できるサポートが必要だと実感しました。研修で学んだことを生かし、長期入院を終え在宅療養に移行する時点で、「患児の詳細な介護状況とタイムスケジュール」「家族がケア以外に睡眠・休息が取れるのか」「計画的なレスパイト」「医療サポートチームの検討」など家族の意見を十分に取り入れ、相談支援専門員と連携して退院調整をしていくことが重要だと実感しました。

出版委員 関東労災病院 川向 幸乃

ご存知ですか  
 プチ情報  
 詳しくは市HPへ

医療的ケアが必要な方とそのご家族が地域で安心して暮らしていけるよう、個別の相談に応じるとともに地域とのネットワークづくりを進めるため、市内2か所に**川崎市医療的ケア児・者等支援拠点**が設置されました。

- 総合リハビリテーション推進センター(川崎区・幸区・中原区) ☎044-223-6973
- 地域相談支援センターそれいゆ(高津区・宮前区・多摩区・麻生区) ☎044-281-0037

### 小児看護研修「子どもを虐待から護る看護職の支援」 11月12日



「私だって愛したい『親』の傍らにいる意味 ～愛されたかった親たちへ～」

#### 支援活動のポイント

対象を理解する力を養おう(倫理的感受性の閾値を上げる)

- できない理由、自分が動かない理由を探すのではなく、私にできること、私にはできないことを探す
- 「ふつう」「あたりまえ」を大事にできる感度を発動させる「この人の暮らしは、普通か」
- 人を信じたり、頼る力が奪われている親は、他者に対して萎縮し警戒的になる。待ちの姿勢ではなく、私たちが、援助関係形成の努力をする
- 法律やシステム(決まり/縦割りの非常識)に振り回され、縛られるのではなく、まして言い訳にしない

講義資料から引用

#### ネットワークの効用 連携のコツは、メッセージからはじめること (I=私)

- 偏った評価を避ける
- 適切な判断をする
- チームアプローチの重要性を知る
- 多職種専門性を活かす(種々の切り口)
- 適切な評価をする
- 個人負担を軽減する。バーンアウトを避ける(援助は長期戦!)



### 支援活動のポイント 市の取組を紹介「川崎市児童虐待防止医療ネットワーク(KCAP)」

児童虐待の相談対応件数は年々増加している。対策を進めるには、子どもと関わる関係機関が連携して支援を要する児童の情報をつなげていくことが重要。医療機関には頭部外傷をはじめ、虐待を疑わせる児童の受診も多い。このため、平成28年2月に市内中核医療機関を中心に、児童虐待対応のネットワークづくりや保健医療従事者への普及等を行い、市内の児童虐待対応の向上を図ることを目的に「川崎市児童虐待防止医療ネットワーク(通称「KCAP」)」が設置された。令和3年度からは市の委託事業として聖マリアンナ医科大学病院が拠点病院となり、医療機関が中心となって活動を推進している。

講義資料から引用

#### KCAPの活動

- 医療機関と児童相談所がそれぞれの対応や役割について相互に理解を深め、連携を強化する
- 医療機関において院内児童虐待対策委員会の活動が定着し、児童虐待への対応力を高めていく
- 部会では、対応の流れなど具体的な内容について協議し、医療機関と児童相談所の理解を深めている

#### 取材レポート

妊婦、母子、その家族に身近な立場で関わることのできる区役所の看護職という立場で、虐待を予防するためにはどのように支援を行っていけばよいのかと思い受講しました。前半の中板先生の講義「私だって愛したい!『親』の傍らにいる意味～愛されたかった親たちへ～」では、家族とは何なのか、子どもを暴力環境にさらしてしまう親、子育てが上手くいかないと感じる親の背景にはどのような思いがあるのかについての話があり、対象者を理解し寄り添う支援の重要性について学ぶことができました。また、関係機関が連携していく中、支援者ひとりひとりが自分にできること、出来ないことをしっかりと言い合える、機能するネットワーク構築の必要性について考えることが出来ました。後半の梅澤保健師の講義「川崎市の児童虐待への取り組み」では、KCAP、要保護児童対策地域協議会、産科医療機関との連携についての話がありました。支援していく中では、関係機関で温度差がうまれてしまうこともあり、日ごろから密に連携しコミュニケーションをはかっていくことがとても大切なことだと考えることが出来ました。

出版委員 麻生区役所地域みまもり支援センター 野間 祐香

パーソナリティの「ポマーレ・そりまち」と左から、堀田会長、春日さん、大森さん、小山さん



貴重な経験ができました

### ON AIR 離職防止委員会がかわさきFMに生出演!

1月7日、離職防止委員会のメンバー3人(春日さん・大森さん・小山さん)と堀田会長が「かわさきFM」の新春恒例番組「声の年賀状」に生出演し、その中で2月14日に開催する、離職防止委員会企画「看護職として働き続けるための座談会」への参加を呼びかけました。

パーソナリティーから予定外の質問攻めでしたが、看護師を目指した理由や各職場の状況などを語り、座談会の予行演習となりました。最後は、小山さんリクエストのBTSの「ダイナマイト」が流れ、あっという間の30分でした。

### Message from the President 会長からのメッセージ



会長 堀田 彰恵

新しい年、令和4年も残念ながら新型コロナウイルス感染症の拡大傾向の中のスタートとなりました。看護職の皆様におかれましては、感染者への対応、感染予防対策の徹底など長期にわたり困難を伴う業務環境にあっても、患者や市民に寄り添った質の高い看護の提供に努めておられることに、心からの敬意と感謝を申し上げます。

さて、今年は当協会がかねてから要望していた川崎市立看護大学がよいよ開学します。地域に根ざした看護大学として、自律できるタフな看護人材を輩出していただけることを期待しています。当協会も、市民に身近な看護協会として大学とコラボし、看護職や市民に対してユニークな取組を展開できるよう模索していきたいと考えています。そして、「看護の心」は専門職だけではなく、家庭での看護のように全ての人の心に育みたいものなので、川崎らしい看護大学と看護協会「看護のまち・かわさき」を目指して取組を進められないか、との希望も抱いています。

また、今回のニュースの編集に際し、読者が「協会ニュース読んだ?」と話題にできるイメージで進めていただくようお願いしましたところ、出版委員会の皆さんが色々とお知恵を絞ってくださいました。ありがとうございました。役員、各委員会の皆様、会員の皆様、今後ともよろしくお願いいたします。

### 活動紹介 「教育委員会」

川崎幸病院 田中 亜由美

教育委員会では、会員皆様の看護の質向上や人材育成に貢献できる研修・講演会の開催と研究実践を軸に活動しています。昨年に引き続き、エンドオブライフや緩和ケアに必要なスキルが身につく「ELNEC-J コアカリキュラム研修」を開催しました。内容並びに講師の先生方について、受講者から高い評価を頂いています。

また、看護研究の基礎から応用まで学び、論文作成、発表会へ繋げられるよう、毎年看護研究活動報告会を開催しています。多方面での看護の現状を研究的視点から学べる貴重な会となっています。今後もコロナ禍でも安心して参加できる研修を各施設の方々と意見を出し合い、楽しみながら前向きに企画・運営しますので、皆様の参加をお待ちしています。



教育委員会

### 受賞おめでとうございます

- 神奈川県公衆衛生協会会長賞 鈴木 宣子 (川崎市健康福祉局地域包括ケア推進室担当課長)
- 母子保健功労者表彰 渡辺 富士子 (関東労災病院看護師長)
- (一社)日本家族計画協会会長表彰 富井 悦子 (ひらま助産院)
- 神奈川県保健衛生表彰知事表彰 中澤 美奈子 (川崎みどりの病院看護部長)
- 川崎市保健衛生表彰 金子 佳世 (日本医科大学武蔵小杉病院看護師長)
- 加田 幸美 (宮前平訪問看護ステーション所長)
- 増茂 磨弓 (川崎市看護協会立訪問看護ステーション井田所長)

### 2022年度継続会員・新規会員募集中!

川崎市看護協会への更新・新規入会の手続きをお願いいたします。

皆様の期待に応える協会を目指します



# 研修の案内

(詳細は協会ホームページをご覧ください。)

## 今年度内の研修

令和4年度診療報酬改定について 3/25(金) 14時～  
申込受付 3/18日(金)まで WEB受講も可

## 令和4年度の研修

災害時看護支援ボランティアナース養成講座 4/22(金)  
申込受付 2/15(火)～4/8(金)

訪問看護師養成講座(第1回) 5/12(木)～7/28(木)全10日+1日実習  
申込受付 3/15(火)～4/30(土)

訪問看護各論研修(前期) 5/12(木)～7/28(木)全20講座  
各講座の2週間前まで申込可

申込は協会ホームページ・QRコード  
<https://www.kawa-kango.jp/nurse/training/>



# 活動報告

1月7日

## 「第5回理事会」開催報告

\*協会運営の現状と課題

\*令和4年度の取組について

- 活動指針・重点事業・事業計画等
- 休日(夜間)急患診療所の看護業務調整事業(仮称)について
- 「看護の日キャンペーン2022」5/13(11～12時) 東急武蔵小杉駅前「小杉コアパーク」でグッズ配布の取組

## 協会ニュースへのご意見募集

～アンケートのお願い～

多くの皆様にご覧いただけるニュースにするために、ご意見ご感想等をお寄せください。アンケートにお答えいただいた方の中から抽選で3人の方にクオカード ¥1,000分を差し上げます。

QRコードからご入力ください



## 合体漢字クイズ

下記の漢字を組み合わせると、どんな熟語ができるでしょうか？

①兆+月+木+古=

回答

胡桃

②矢+忍+言+口=

認知

③口+イ+木+口+手+口+本=

体操

多数の応募をいただきました。正解者の中から抽選で3名の方に1,000円のクオカードをお送りしました。  
※漢字クイズは今号で終了とさせていただきます。

## 東洋羽毛 睡眠セミナー無料サービスのご案内

睡眠に関するお悩みはありませんか？

### 睡眠セミナーを無料で開催しています

東洋羽毛では「睡眠健康指導士」の資格を有した講師による充実したセミナーをご用意しています。

- 睡眠の科学的メカニズム ●社会的な睡眠の重要性
- よりよく眠る方法 ●よりよく眠るための心得
- 交代制勤務の負担を軽減する眠りのヒント など

\*研修内容及び研修時間をご相談に応じます。

\*研修会は複数回ご受講いただけます。

◆東洋羽毛では、研修会や勉強会、学会でのコーヒースerviceもご提供しています。



東洋羽毛首都圏販売株式会社 南東京営業所

TEL 0120-559070



よかった!

## 「102号」にはこんなご意見が寄せられました

う～ん?

- 紙面がカラフル、写真もあり、とても読みやすく興味のある内容だった
- 市のコロナに関する動きを知ることができた
- 普段災害看護に触れることがないため、興味が持てた
- 研修だけでなく、高校生の進路・進学説明会もやってくれることを初めて知った
- 活動報告が少ない
- プレパパプレママ教室のことが記載されていたが、存在を知らない人のために、説明文があればより良いニュースになるのではないかな



## 取り上げてほしいテーマ

- 医療的ケア児への支援について
- コロナ禍でのコミュニティづくり、保健師の活動

## 編集後記

編集した日は阪神淡路大震災から27年目の日でした。その数日前にはトンガの海底火山噴火に伴う津波注意・警報が発令されていました。神奈川での度重なるエリアメールはシステムの不具合もあっての事だった様ですが、コロナの影響で忘れがちになっていた防災意識の再確認をした今日この頃でした。

出版委員会